

ゴリラ日記



その1 ええ顔

人工哺育で育ち、両親と同居を始めたゲンタロウ。

今までは母親ゲンキの腕にしがみつきの動物舎を移動していましたが、最近ではゲンキから離れて一頭で部屋からグラウンドの出入りをするようになりました。

食べ物には牧草に木の葉やフロップリーにアマトなど、種類も量も増えています。ウンチもたくさんするようになりました。

たくさん飲んでいたらミルクは少なくなっています。

最近よく見られることがあります。

それは父親モモタロウとの遊びです。

初めのころ、モモタロウは遠慮気味に小指で軽くゲンタロウに触れるくらいでしたが、日がつれて大胆な行動をこるようになりました。モモタロウがゲンタロウを持ち上げたり、ゲンタロウがモモタロウに飛びついたり遊びがとんととエスカレートしてきました。

母親ゲンキはもくもくとエサを食べています……が、何かあるとゲンタロウの元に駆けつけます。

遊んでいるモモタロウとゲンタロウ、それを見ている来園者や職員もみんな笑顔です。ゲンタロウがガラス越しにドラミングしているときは、みんなに「遊ぼうや〜」と誘いかけているのかもしれないね！

二〇一三年十月からコロラの担当になりました。ゲンタロウの成長やモモタロウ・ゲンキとの関わりを、この「コロラ日記」でお伝えしたいと思っています。よろしくお願ひいたします。



二〇一三年 一月

担当 菅野 あり